

**「地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」**

**設立趣旨**

- ◇鳥取自動車道は無料の高速道路で各インターチェンジでの乗り降りは自由であるが、コスト削減の観点から高速道路にサービスエリア・パーキングエリアが設置されておらず、長距離利用者へのサービスが必ずしも十分とは言い難い状況である。
- ◇沿線の町では、従来から街道や宿場町を活かして、地域活性化に取り組んできているところであるが、鳥取自動車道のインターチェンジから沿線の各種施設や街道の宿場町等への適切な案内や地域資源への周遊を促す沿線地域の連携が求められている。
- ◇「地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」は、新直轄方式で整備された鳥取自動車道の特性を踏まえ、沿線の「道の駅」や観光資源等の活用方を検討し、道路利用者の利便性の向上および沿線の地域活性化につなげていくことを目標とする。

**検討項目**

- ◇休憩施設等への案内表示の改善  
 コスト削減の観点から削減されたサービスエリア・パーキングエリアの機能を補完するため既存の「道の駅」等の休憩施設への誘導を検討  
**→案内標識、道路管理者が作成するマップ等**
- ◇総合的な案内サイン  
 休憩施設等への案内や素通りされないための対策として総合的な案内サインを検討  
**→IC～観光地周辺までの1次・2次・3次誘導**
- ◇共通のロゴマークや地図と連携した標識  
 標識だけでは提供できない情報を統一のロゴマークやマップ等で提供することも検討  
**→統一のロゴマーク、沿線地域が連携して作成するマップ**

**委員会名簿**

※平成24年11月時点










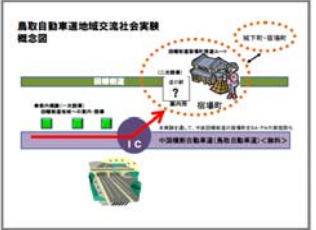



委 員		備 考
筑波大学大学院システム情報工学研究科教授	石田 東生	
鳥取環境大学 理事	道上 正規	
鳥取大学大学院工学研究科教授	谷本 圭志	
鳥取県 統轄監	法橋 誠	
岡山県 土木部長	平出 純一	
兵庫県 西播磨県民局長	藤原 由成	
鳥取市長	竹内 功	
岩美町長	榎本 武利	
若桜町長	小林 昌司	
智頭町長	寺谷 誠一郎	
八頭町長	平木 誠	
美作市長	安東 美孝	
西粟倉村長	青木 秀樹	
佐用町長	庵谷 典章	
因幡街道交流会議 会長	長尾 裕昭	
全国街道交流会議 専務理事	古賀 方子	
国土交通省 中国地方整備局 道路部長	伊藤 正秀	
国土交通省 鳥取河川国道事務所長	田中 衛	

**委員会等開催状況**

- 平成22年11月15日 第1回委員会
- 平成23年 2月21日 第2回委員会
- 平成24年11月26日 第3回委員会
- ◇平成22年12月13日 第1回幹事会
- ◇平成23年 2月 8日 第2回幹事会
- ◇平成24年 4月26日 第3回幹事会
- ◇平成24年10月 9日 第4回幹事会
- ◇平成24年11月 8日 第5回幹事会

# 鳥取道沿線施設への案内誘導の取り組み

## 「鳥取道の利活用に関する検討委員会」での検討項目に対する取り組み状況

検討項目	検討内容	課題	対応策	取り組み内容	
				(平成23年度)	(平成24年度)
休憩施設等への案内表示改善	トイレ機能 (30分以内) 疲労回復機能 (60分以内)	「道の駅」等への誘導案内必要	①本線内外の「道の駅」等の施設内容、出口位置、距離等の案内標識を設置 本線併設は緑色、本線外は青色 	(A) 休憩施設等への案内表示改善 (案内標識の設置) ・「道の駅かわはら」を対象とした案内表示改善。 ・設置要領の見直しを行い、鳥取道沿線の他の道の駅への案内表示改善へ展開。	 
	給油機能 (60分以内)	注意喚起が必要  IC周辺GS情報の提供が必要	②「鳥取道にGS無し」を周知する標識(看板)を設置   ③年中無休、24h利用可能GSの施設、出口位置等の案内標識を設置 青色を基本 	※「鳥取自動車道休憩施設ガイドマップ」上で表示 	(D) ガソリンスタンド案内看板の試行 (H24. 4. 26から実施)  
	上記の総合案内		④休憩施設マップ、給油情報チラシカーナビ連携など	(B) 「鳥取自動車道休憩施設ガイドマップ」の作成	
総合的な案内サイン	IC～観光地周辺地までの1次・2次・3次誘導  沿線への立ち寄り行動促進  滞留時間増大にむけた地域内周遊促進		⑤ 1次・2次・3次案内サイン 	(C) 鳥取自動車道地域交流社会実験 「道の駅かわはら」を中心とした沿線において、「因幡街道交流会議」による社会実験を実施 	(E) 観光地案内看板の試行 (H24. 8. 31から実施)  
地図と連携した標識	統一のロゴマーク・沿線地域が連携して作成するマップ  標識だけでは提供できない情報を提供		⑥ 共通テーマでのサイン、沿線地域が連携して作成したマップ 大山パークウェイの事例 		1次誘導案内看板 (鳥取道本線上)  2次誘導案内看板 (一般道路上)  ○案内誘導の考え方の提案  ○鳥取道利活用推進協議会にて総合的な誘導ガイドラインの作成